



静岡県出身。東京国際大学経済学部国際学科卒業。米国オレゴン州TIUアメリカ校卒業。1993年株式会社ベンチャー・リンク入社。2010年同社取締役就任。11年同グループのMBOにより独立。インクグローウ株式会社の代表取締役社長を務めたのち、15年より現職。地方自治体の地方創生プロモーションの支援に従事する一方、経済産業省「女性起業家等支援ネットワーク構築事業」の静岡県主宰としても活躍している。

## 地方創生にかかわる中小企業の役割

# 地域プロモーションにおける「官民が連携する有効なコンテンツ」を考える②

# 13

Human Delight株式会社 代表取締役社長

野田 万起子 のだ まきこ

9月号のテーマで「地域プロモーションにおける官民が連携する有効なコンテンツ」を取り上げ、地域プロモーションにかかわる「フィルム・コミッション」の存在について紹介しました。今回は民間企業が「地方創生」を目的とし、地方自治体と協業する「映画コンテンツ」の具体的な事例をご紹介します。

### 地域プロモーションを「映画」で伝える企業の存在

2013年設立の株式会社and Pictures（アンドピクチャーズ）は、業界では新興企業でありながら大変興味深い取り組みをしています。

代表の伊藤主税氏（39歳）は、愛知県出身で元々は学校の先生になりたいという夢をお持ちでした。しかしながら、先生の立場では色々な境遇にいる子供たちに必ずしも正しいことを伝えられないと思い立ち、映画の企画・制作を通じて社会貢献の使命にかられ、自身の資金集めから現会社を設立されました。その経緯は凄まじく、起業家としては尊敬の念を抱くばかりです。

同社設立後は、企業とコラボレーションした短編映画の企画制作、役者育成のためのワークショップ運営を行いながら、年間3〜4本の長編映画製作をされています。

そして、現在はアジアを含めた海外展開、地方創生へのかかわりなどを視野に、理想の映画創りの為に奔走されているのです。

とする映画「ダイヤモンドナイト」の制作発表記者会見が鹿角市役所で行われました。そしていよいよ、来年1月26日にロードショーとなることが発表されています。

主演俳優は阿部進之介さん、何とこの作品自体のプロデューサーはご自身も数多くの作品に出演されている俳優山田孝之さんで、制作発表以来、多大な関心を集めている作品です。

9月号では、地域プロモーションにかかわる「フィルム・コミッション」の存在を紹介しましたが、今回の鹿角市の取り組みは、市民主体の取り組みと言えます。

鹿角市は、今回の映画ロケを単なるロケ誘致に終わらせず、ロケ期間中の住民との交流の他、映画のプロモーションと連動して、ロケ地訪問ツアーの企画などにより、ロケ地となった鹿角市の活性化やプロモーションに最大限つなげようと、市民主体の「制作支援・プロモーション実行委員会」を設立しました。地元市民が「一丸となって、この映画を通じて鹿角のプロモーションに係わり、鹿角を多くの人に知ってもらおう」と動き始めているのです。

前述したとおり、鹿角は移動人口を受け入れるインフラがあります。これは大きなアドバンテージと成り得るでしょう。

これまで、映像プロモーションによる地域プロモーションの事例は数多くありますが、どちらかと言えば、「結果として成功した」というものも多かったと思います。

鹿角市の取り組みは、これからの実績となりますが、地域の課題を分析し、地域が保有する資源を活用し、地域が一丸となって取り組むことで大きな成果をもたらすものと確信しています。

先

## 『ダイヤモンドナイト』制作発表記者会見



鹿角市HPより転載



「ダイヤモンドナイト」公式Facebookより転載

### 効果的なプロモーションの施策を考え連携するパートナーを選択する

秋田県鹿角（かづの）市は、秋田県北東部に位置し、秋田県・青森県・岩手県三県の県境にあります。人口は約3万人強ですが、十和田八幡平国立公園を有するほか、3つの国重要無形民俗文化財が指定されており、特徴のある地域資源を活かしたまちづくりを推進しています。

本市の課題は意外でしたが、総生産額に占めるサービス業の割合が高く、宿泊業・飲食サービス業が多いことから観光業が雇用を吸収している産業になっています。

一方で、産業ブランドを支えている農畜産品は市場出荷への依存割合が高く、生産者自らが独自の販売チャネルを創らないとならないのですが、個々で取り組む事は難しく、観光と農業を一体化してPRする方策が必要だと考えていらつしやいます。

都市ブランドに関する調査では、鹿角市は魅力度に比べ認知度が低く、より多くの人に「知ってもらおう」ことが必要で、様々なプロモーションを打って出しています。そして今回、「地域開発映画プロジェクト」として、映画を通じて「鹿角」を知っていたかどうかという取り組みがはじまりました。それをプロデュースするのが冒頭で紹介した、and Picturesなのです。

### 角ぐむ「鹿角」ブランドを確立するための鹿角市の挑戦

昨年11月2日に、鹿角市・三種町・秋田市を舞台